

北陸物語 (二) (2023~2024)

今回は、今までとは違って出発日を一日早く暮れの晦日(12/30)とした。
自宅を 10:16 に発ち、桃山台、大阪駅
予想した様に、大阪駅についてみると、サンダーバード(89号)は満席
で自由席特急券と乗車券(自動販売機のみで駅員コール??)
一時間程待って、何とか自由席に座れた・・・(13:12)
(何時もは、新大阪でのるのであるが、・・・読みは当たった・・・)

行程と概要

12/30

大阪駅発 **13:12**

敦賀・・・14:33

金澤着 16:00 頃

駅近の東横インにチェックイン

駅周りを散策、六枚の料亭/居酒屋「**紅屋**」にて一献(¥5742)

紅屋で福岡県(糸島半島)の親子(母親と息子)と臨席する

息子さんがバスの運転手で、会社休暇を使って、親孝行の旅の様である。

土地の人でない様なので、つい声をかけ、・・・話が進み・・・、

息子曰く、「明日(12/31)はレンタカーで北陸を周遊する予定だが、

「北陸の雪を見たいが、今年は少ない様で残念!!」

いろいろ話しているうちに、「何処のルートが良いか」と尋ねられた・

・・・「午前中に能登自動車道を使って能登の「**輪島の朝市**」を観て、七尾経由、午後は高岡から東海北陸自動車道を使って「**白川郷**」を周って金澤に還るコースを作って勧めた・」(息子さんがバスの運転手をしているとのことも配慮し・・・)

私は、日本酒「**手取川と宗玄**」、と**喉黒の刺身**を飲食して、ほろ酔い加減で隣のホテルに還った(ただ、明日の天気は下りであり、氷見、雨晴からの立山連峰遠望は心配される・・・)

12/31

JR 金澤駅(8:49)

倶利伽羅(9:05) **あいの風いしかわ鉄道**

JR 高岡駅(9:30)

予想とおり小雨模様

予約済みのホテル(:セブン・セブン高岡駅前)に重い荷物を預け、

天気の移りを期待して、近くの国宝「瑞龍寺」を拝す。

瑞龍寺門前で懐かしい「蕪寿司」を買って、ホテルに寄らずに高岡駅から氷見線に乗る、越中国府にて下車、

喜多神社(越中一宮)、大伴神社、高志の展望台、国分寺跡、・・・勝興寺、家持碑、气象台、国府跡、古国府、伏木駅

この間 **1.5 時間程小雨の中を歩いた**・立山を望むが・・・(**立山は雲の中**・・・)
伏木駅—(タクシーにて小矢部川に架かる**伏木万葉大橋**を渡って)---中伏木駅(万葉線)、・・・途中二人の外人に会う・・・(ロシア人かと聞いたら、ウズベキスタンらしいが、言葉が通じず・・・)、彼らは古城公園口で降りた・・・私は終点の高岡駅に戻る。(車内放送は志の輔が・・・「又のお越しを・・・」と括った・・・)

改めて、チェックイン(**15:30**)、

当ホテルは一泊二食付き(**¥5250**)??安い(何か、クーポンがついていたのか、何時もは氷見のルートイン「**和蔵の宿**」は素泊(**¥14000**)であったが、今年予約(10月頃)が取れてなく(フロント係員のミス*例の女子?)、急遽、此処の高岡セブンセブンに振ったのであるが・・・

・・・後でこのことが効いてくる(神がかり!! 何のご縁か・・・)

もし、去年と同じであれば・・・富山には着けなかった・・・

夕食は定食風(カレーライス、みそ汁、煮魚、ご飯は御代り自由)

飲み物、瓶ビールのみ(**¥500**)

すこし、寂しいが、**ゆったりした大晦日**であった。

T/V はつまらんものばかりで、早めに床に就いた(**11:00**)

1/1(月)

やはり、天気不良、夕方に回復することを願って**時間調整を図る**・・・

(1) 高岡駅(**08:00**) JR 城端線に乗っていた・・・

砺波、福野、福光、城端

・城端駅(**09:10**)から(世界遺産観光バスに便乗)白川郷バスセンター迄
(**11:00**)

(白川郷バスセンター近辺を散策(約1時間))

・帰路は、城端駅で降りずに、高岡駅着(**13:00**)

高岡から、飛騨の白川郷まで往復したのである、

(**約五時間程**で・・・)

南砺波、庄川を遡って、五箇山、多くのトンネルと峠と

高速道路(東海北陸自動車道)

***全く、予定外ではあったが**・・・元国鉄バス(名～金線)の国道156号線に沿って「**桜道**」を造る(バス運転手(佐藤良二氏の夢)が繋がった処を走ったのである!! (何年前か・庄川桜を民子と観て周った時のことを思い出し・

(2)高岡に戻って、**雲の切れ目に立山が覗くかも**・・・と期待して・・・

万葉線(路面電車)高岡駅(14:00)--海王丸 15:00)、途中、老婦人(留萌出身
今息子と同居とのこと)

歳は 86 歳、吉田敬子さんと知り合う、(持参していた「ますの寿司」を進
呈し、喜ばれる・彼女は新町口で下車し、深々と頭を下げている・・・)

私は、海王丸駅で下車

・公園で海王丸、巡視船「やひこ」等を撮影、此処でも、立山連峰は望めず一
人の女性と記念写真を撮りあって、海王丸駅に返した、その時反対方向越の湯
行きが来たので乗り終点まで行き、すぐに引き返した。(始発～終点踏破は私の
癖・・・)

******そして、海王丸駅、東新町駅を過ぎた辺りで大きな地震が起き、一両電車の
乗客 3 名が突然止まった車両内に遺された **!! (16:14)**。

******防災無線がなり、慌てる運転手を制して、退避方法を考えて、取り敢えず、
線路に降り、枕木を踏んで、100m 程乗客を連れて踏切の近くに在る工場の正
門に行き、避難場所を探した、津波情報がひっきりなしに鳴り、スマホもブウ
ブウ鳴り、取り敢えず、二人を連れて工場の三階への非常階段を上った。

そこには、工場関係者と家族 5 名程が窓際を外して、階段手摺につかまってい
た、その後何回かの余震があり、近所の人には自宅が心配になり、家族の中の
一人が、息子たちと私達を残して、近くに在る自宅に帰って、仏壇、火の元、電
気の安全を確認して戻って来た・・・

さて、われわれ三人はどうすべきか・・・と、一番しっかりしている、男
に相談した、・・・

『家は今の処、大丈夫で、津波も外浦の方らしいので、私の家まで行き
ましょう・・・』

我々は、彼の後に就いて少し高台にある彼の自宅に寄せて貰った・

「最寄りのバス停か、大きな駅に行きたい、タクシーをよんで貰おうとおねが
いした」が、電話が通じない・・・

困っている我々を観て、

「**宜しい、私が高岡駅迄送っていきましょう**」と・・・彼の四駆の自家用車に載
せて貰って、高岡駅に向かった、

道路が所々は破損し割れ、水浸し、倒壊ブロックが進路を止めて前に進めな
い・・・

そんな中、土地勘がある彼が何とか、新川大橋、高新大橋を渡ることができ、
30 分ほどで JR 高岡駅に着けてくれた。

私は、お金をてわたそうとしたが、断られ、
自分の軽率さを恥じた。

車中、交わした会話から・・

- ・息子さん(帰省中)が、立命館大へ明日帰る、
- ・日本高周波鋼業に入って下請けの仕事をしている、
- ・また、中国にも仕事で行ったことがある

等々の断片しか情報がない、

.....

私は、**人間の真摯さ**に心打たれた、

また、民間の親善外交の現場を見た、

(中国人青年のあの時の顔は忘れられない)。

大変な災害に直面し、生きて帰れたことは、

奇跡的な体験を得た旅になった

JR 高岡駅に着いて、何とかかなると思ったが、

鉄道、売店もすべて閉じられ駅の改札には、復旧見込み不明・・

階段を上って、駅の南側に出て、昨夜のホテル(荷物を受け取り)に戻っ

て、もう一泊をお願いしたと懇願するが、不可(上階の貯水タンクが破損して、泊の客にも、退出願っている現状です・・)

私は、決断した・・朝になると、車、バスは何とか動くだろう、今夜は駅の待合室で過ごそう、衣類、おにぎりとは水は何時もリックに入れて持ち歩いている・・こんな時に役立った・・

.....

駅に戻って北側を見ると、**1F**のコンビニ(ローソン)から人の出入りがある

そこの真横から「ホテル&—1」に通じていた・

混雑する客をかき分けて、フロントにいき、

「緊急ですが、今晚一人お願いできないか・・と懇願した・・」

フロントマネージャは、困ったようすで・・

『この地震で、エレベーターも止まり、お断りします・・

是非にと言われますと、非常階段を使って、頂きますと、二階の部屋は御取りできますが・・危険はご自身で納得して・・』

「すべて、承知、お願いします・・」

支払いはクレジットのみとのことで支払い(¥5000)、**202**号のkeyを得た・・

言われる裏の非常階段を上った。

入り口のドアを押して入ると、物が混在した物置であり、迷ったが、もう一つ奥の扉を押し開けると、二階客室の廊下が広がっていた、・・

202 の扉にキーを入れて押してみたところ、正常な状態で電気、バス、トイレも TV も動作した!!

しばらく、して、食料を入手するため、又来た階段を降り、フロントに挨拶(○印)をフロントマネージャに還した・・・

「早く食料を入手したほうがよいですよ・・・」

言われる通り、おにぎりも、パンも無く、水と缶ビール、日本酒、おつまみ、等を仕入れて元の階段を上って部屋に戻った・・・。

何時もと変わらないビジネスホテルでの夕食、夜食に思えた・・・

TV を入れると、何処の局も地震のニュースでアナウンサーは同じ様な情報を流していた、テロップでは死者 44 名・・・の更新中であった
-----その後もくり返し報道しているが、時間差があり、
所詮は後付けである。

1/2

ホテルをチェックアウトして、エレベーターは動いていた駅に行ってみたが、依然として列車はすべて不通であり、復旧はわからないと表示されたままであった・・・、

そのうち誰かが新幹線は午後から動く様であるとの情報が耳に入った
・・・私は考えた・・・「新幹線が一番強いはずだ・・・」まず、新高岡に出る、それにはタクシーしかないそれも大きな会社じゃなくて小さい個人タクシーが良い、私は控えてあった高岡のタクシー番号に電話をかけた、案の定、通じた「十分間ほど待ってください南口のバス停の所に行きます」・・・では、よろしくお願いします、新高岡迄と言いました、

ちょうどその時、私の横で、裕福そうな親子連れが、オロオロしていた(・どうも、息子が親孝行を兼ねて、年末年始に千葉から東京・北陸・関西方面の周遊旅行を計画中・であったみたい)・

・私はお節介かと思ったが・・・

「とりあえず新高岡に行きませんか」タクシーは私が今頼んでいますので・・・しばらくしてタクシーが来た、新高岡までその 3 人と同乗した料金、2010 円位だったか、親子の主人が支払った(頼んだのは私でもあり、軽薄にも小銭 500 を渡した、貴婦人は受け取った・・・(??))

われわれは新高岡の駅に入ろうとしたが改札が閉まって横の通路に廻って自動改札の横の処で、切符を買おうとしたが、此処も閉まっていた、駅長自らの判断でスタンプを押してくれた。我々はそれを持ってプラットフォームへ上がった。

しばらくすると 30 分ぐらいして、富山方面行きのはくたかが

ゆっくり通過した、・・「うん、多分あれは試運転と思われる、
やがてそれが帰って来て、金沢方面へ行くのだろうと・・」 その通り
であった

30分位して金沢行き**のハクタカ**が入ってきた・・

われわれは切符は何もないので指定席の入り口から入って、まあ一駅だから立
ってもいいやと・・思って入ってみるとガラガラだった、新幹線は高岡から金
沢に着いた、金沢駅は在来線がまだ不通、市内バスも通ってなかった・・

とりあえず私は予約してあったホテル(ViaInn 金沢駅)に立ったが、入り口の自
動ドアが開かなかった・・うん昨夜のこともあるんだよ・・ええ、横のインタ
ーphoneで私がフロントと話した

フロントは私の予約番号とか予約の名前を聞いてやはりここも非常口から入っ
てください・・そして三階に来てください」

私は非常口から三階へ上がった、フロントはまあ正常にというかちゃんと受け
入れてくれた・・

とりあえず、そこでチェックインの前に荷物を預けて番号札をもらった・

今日は、**金沢見物**と行くか・・尾山神社にはタクシーが行けるだろうと、フロ
ントに降りようとするとうエレベーター、動き、出るのは、出来るという状態
であった。

この分だと、だいぶ回復してるのかなあーと思った、

私は荷物を預けて、身軽になって、雨合羽と傘だけ持っていつものスタイルで
駅前のバス停に行った。

バスはまだ動いてなかったのでタクシーを拾って南町の尾山神社を目指した。

南町で降り、観光センターに行っているいろいろ情報を得たいと思ったが、ここ
でも良く分からない・様である。

私はこの町の事はよく分かってるので、まあ尾山神社から金沢城を抜けて兼六園
と金沢市内の観光に変えようと思った。

尾山神社に行ってみると初詣のすごい行列で、それを避けて、金沢城の鼠門か
ら入ろうと、橋の手前に、ここも通行止め(何か金沢城の石垣が崩れたというよ
うなことを聞いた)

仕方がないのでもう一度戻って尾山神社の行列の中を抜けて今度は
尾崎神社の方へ行った。

そこで初めてへ初詣ということで**尾崎神社に初詣**を拝した・

それから金沢城の脇道を通って兼六園の方に行こうとしたら、

兼六園の手前で何か被害があつて本日休園閉鎖ということで

仲見世の前を通り、(店はほとんど休業状態・)真弓坂方に向けそれから
広坂を下って旧制四校の前を通り、もう一度尾山神社の方へ戻ってみる

と、まだ相当な参拝客が並んでいた、私は手前の中華料理店で珍しくも中華ラーメンを食べて、そのまま横道を元北國銀行跡、良く通った喫茶店「美樹」の傍を周ったが、正月でもあり、地震の余波もある事か、閑散としていた。銀行別館の横を抜けて、武蔵が辻に出た。

其の頃には、市バスがもう通っていたので、市バスを乗って金沢駅西口で降りて、ホテルの正面について入ろうとすると今度はインターホンで話すと自動扉が上から開けてくれた

それ登って改めてチェックインをした***

此処からは、大体同じような手順であったが・・・

食事と飲食にと思って下に行ってみると、西口の横の売店、土産店も開き始めていた。

セブンだったかな、そこで、おむすびと何を買った他に酒とビールとおつまみを買った、その時はまだ、百番街は閉まっていた。

それらを持ってホテルの自動ドアの前に行くと、開いた・・・

フロントで、荷物を受け取り、改めてチェックインになった。

部屋(512)に入ってみるとテレビは相変わらず能登半島地震の速報というのかな?、ちょっと時間遅れで死亡者、行方不明者の数ばかりが出て、専門家は例の調子で「かもしれない」と何処のテレビもほとんど地方テレビ地方局でもNHK 中央もそうであるが・・・まあ昨日より少しマシな状態であったで、私は、明日のことどうしようかと考えて、「成る様にしか、成らない」・・・なる様にしか、ならんだらうと・・・思って、ゆっくりと飲食をし終わった。

風呂もゆっくりと入って、これまたゆっくりした夕方で夕食であった・・・

だいたい鉄道も回復してきて明日は多分オープンじゃないかなと思った

何か、一人旅の過去の経験が非常にこんな中でも役立った(北海道ひとり旅の時の困りようと違い少し余裕があった)

以上(口述記録は使い物にならない、手打ちで修正　・・・)

1/3(水)

荷物をフロントに預けて、駅下に降りてみると、七尾線以外は、開通してきている様であった。

吉、この分だと、北陸鉄道(石川線)は動いているだろうと駅前から野町駅に行ってみた、予想とおり、電車は開通しているが、白山神社と鶴来駅の初詣バスは、今年中止であると知らされたが、去年の事を思い出して、タクシーを使えば・・・と**決行**した。

結果的には鶴来からタクシーで神社裏門からではあるが、**白山比咩神社**を詣で、念願の孫たちの合格祈念と家内安全祈願の御札を享けて表門の方に下り、バス停に戻った。念のためバス停の時刻表を見ると 30 分ほどで路線バスが動

いている事を知り、30分あれば手取川と和佐田橋を渡れるのではないかと
言うことで決行した。

旧加賀一宮駅、古宮公園、手取川を見るために和佐田橋の中程から手取川を写
真に収めた。

周って来てみると1分ぐらい前にバス停に着いた。

しばらくすると金澤方面行きのバスが来た、それに乗り鶴来駅、(これは歩けば
30分以上かかることは経験済みである)・・・バスは予定時間に来た、

・・・運が良い、天の恵み、**まだ私はついている!!**・・・と思った。

鶴来駅に着くと30分ぐらいで野町行きの電車が入ってきた、

それに乗って何時もの様に、野町駅に着いて、しばらくすると、市バスが待機
していた(石川交通、市内バスも動いて)・・・

野町から、香林坊、武蔵が辻経由金沢駅西口のバス停で降り、

そして、改めて階上のホテルに上がった(このときは自動扉が効いていた)

荷物を受け取って一階に降りて、車中の食事を「**かにめし**」とビールとかまぼ
こを、仕入れ、特急券と乗車券(自動販売機も動いていたので)購入して、フォ
ームに上がった

金沢駅 **10:56 発**、窓際に席を取って後は何時もの通りであった。

これで、サンダーバードに乗るのも最後かなと思った。

サンダーバード 18号は小松、加賀温泉、芦原温泉、福井、鯖江、武生、敦
賀、京都、新大阪と止まって、新大阪には **13:30 着**、

そこから地下鉄に乗り、桃山台からタクシーにて自宅には着いた **14:35 分頃**か
な??

終わってみると、今回の旅も大きく計画とは外れた!!。

1.立山は今回も望めなかった

2.初詣と念願の祈願は(一日おくれたが)、**白山比咩神社**にて果たせた!!。

(**幸運と言える、**)

3.万葉線の車中で「**能登半島地震**」に遭遇 **すごい体験**をした !!

4.高岡、南砺、五箇山、白川郷まで周遊(予定外で、時間調整
のための振りであったが)、記憶に残る旅であった。

5.そして、人間の行動、規範、善、欲・・・自然の力・・・

そんな中で、人間の真心を知り、知らされた・・・感謝、感激

**そして、この体験は、記述しがたい体験であるが、多分私の記憶から
もやがて薄れていくだろう・あの阪神・淡路大震災の記憶がそうである
ように・・・ただ、自分の生きている間は、この**災害記録メモ**として遺し
て置きたいと願っています。

他人には、

「**言うなかれ、語るなかれ**」と思う・・・

(as of 2024/01/13)

瀬並和弘 拜